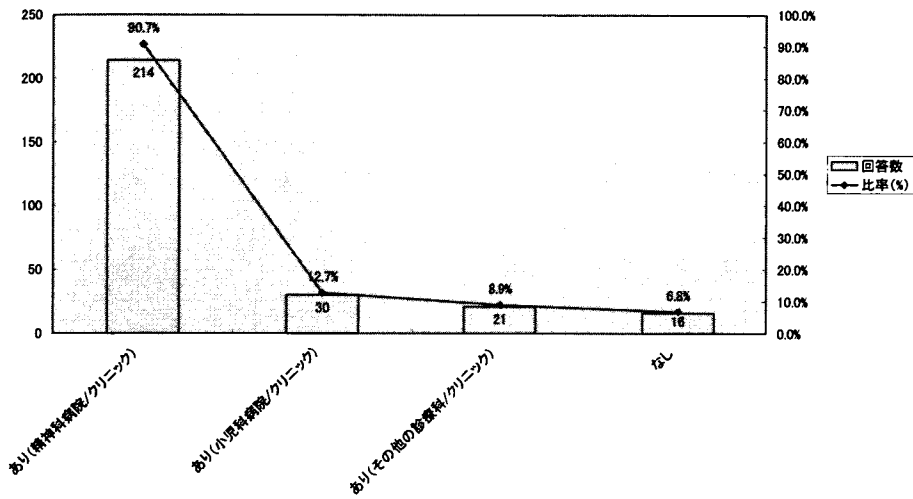
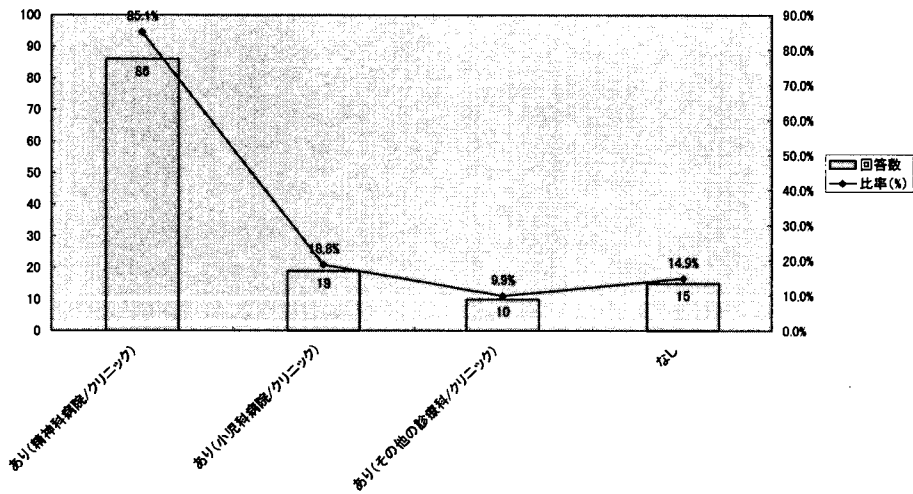


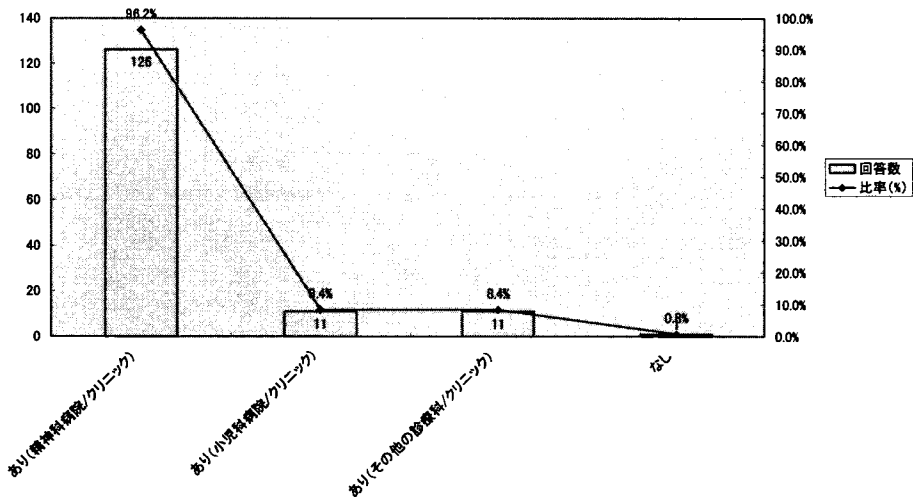
継続的に相談できる医療機関の有無(複数回答可)



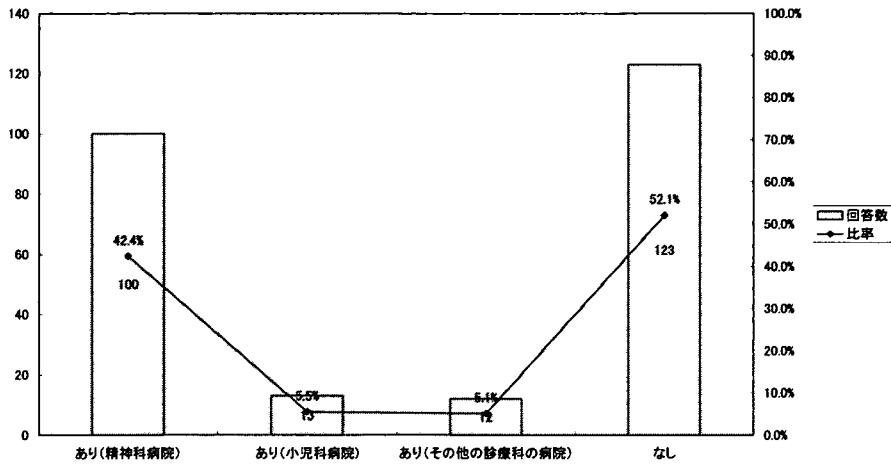
継続的に相談できる医療機関の有無(通所施設・複数回答可)



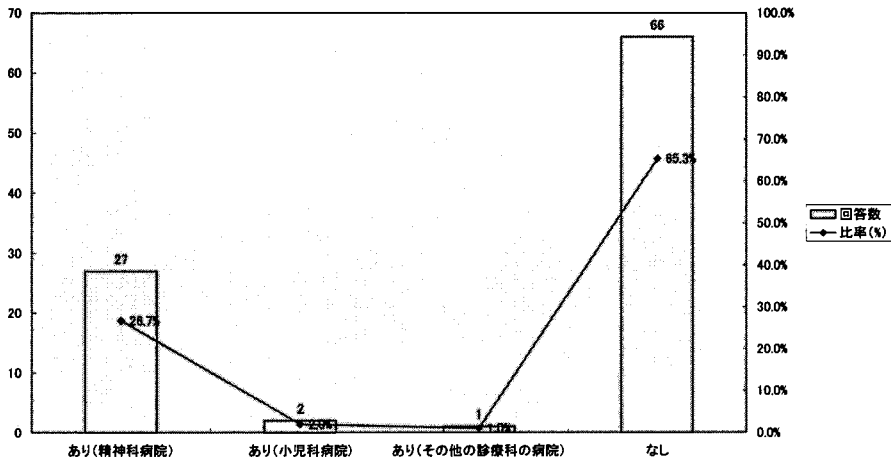
継続的に相談できる医療機関の有無(入所施設・複数回答可)



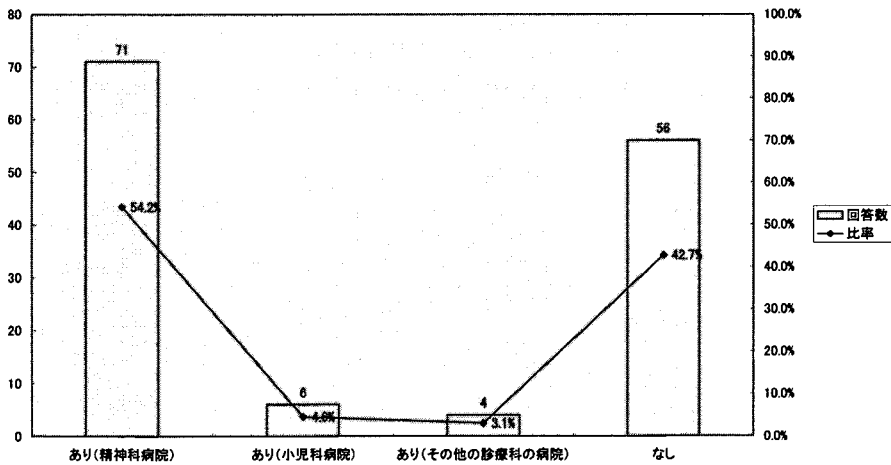
行動及び精神症状が増悪した場合の入院医療の受け入れ機関の有無  
(複数回答可)



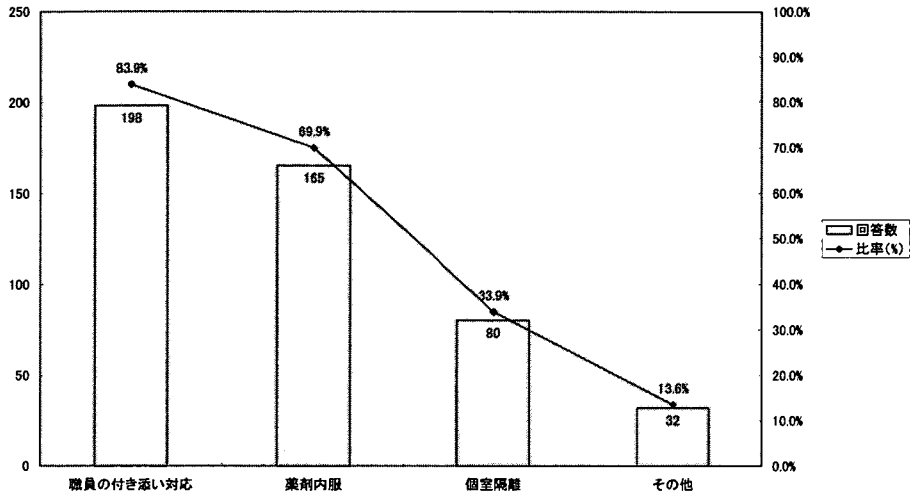
行動及び精神症状が増悪した場合の入院医療の受け入れ機関の有無  
(通所施設・複数回答可)



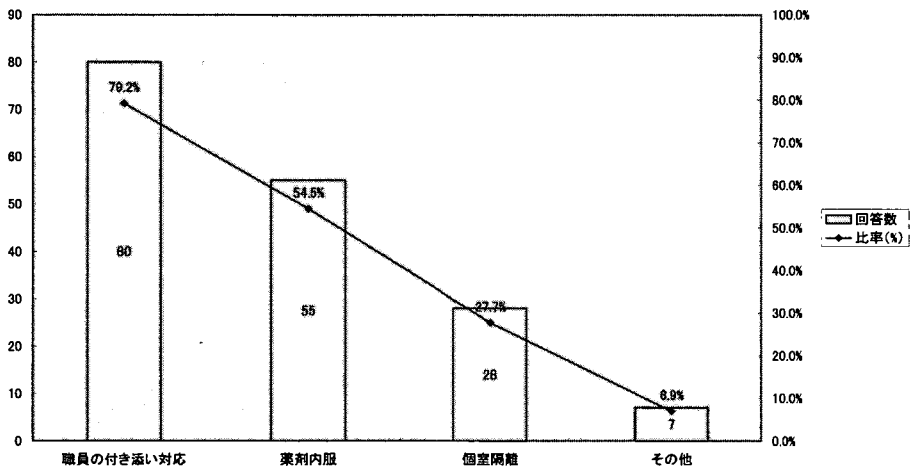
行動及び精神症状が増悪した場合の入院医療の受け入れ機関の有無  
(入所施設・複数回答可)



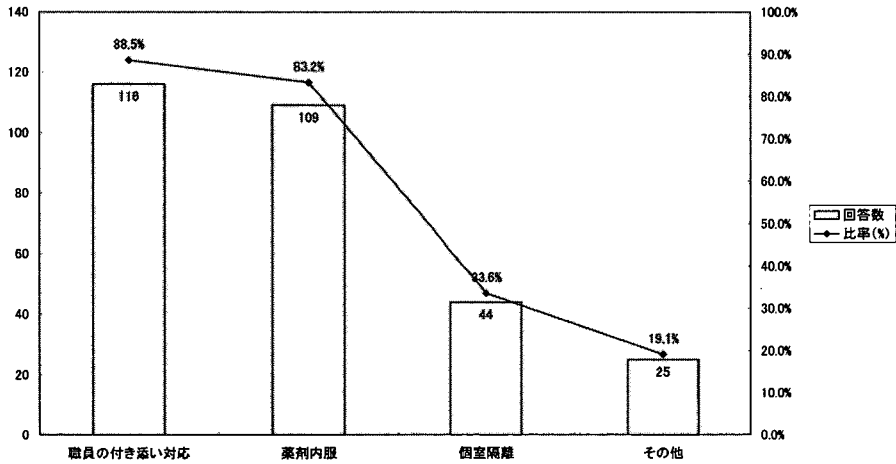
行動及び精神症状が増悪した際の施設での対応状況(複数回答可)



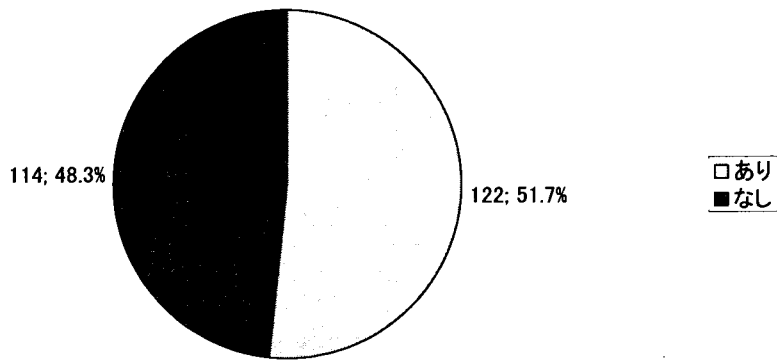
行動及び精神症状が増悪した際の施設での対応状況(通所施設・複数回答可)



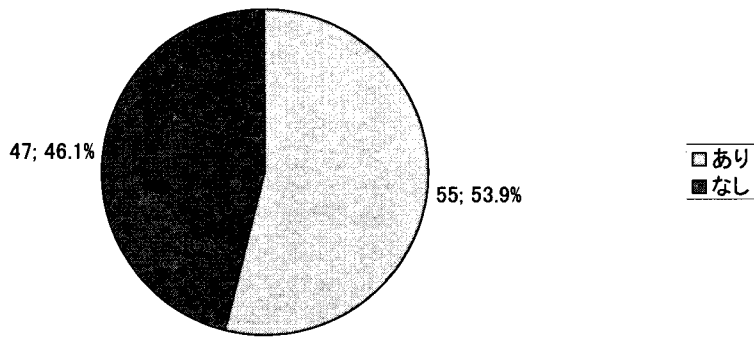
行動及び精神症状が増悪した際の施設での対応状況(入所施設・複数回答可)



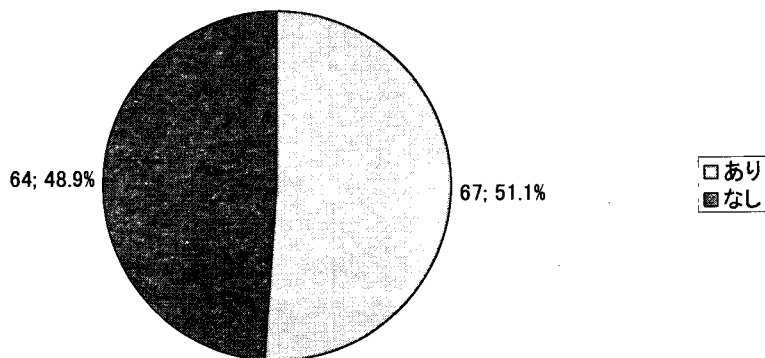
医療機関との連携、カンファレンス実施の有無



医療機関とのカンファレンスなどの連携の有無  
(通所施設)

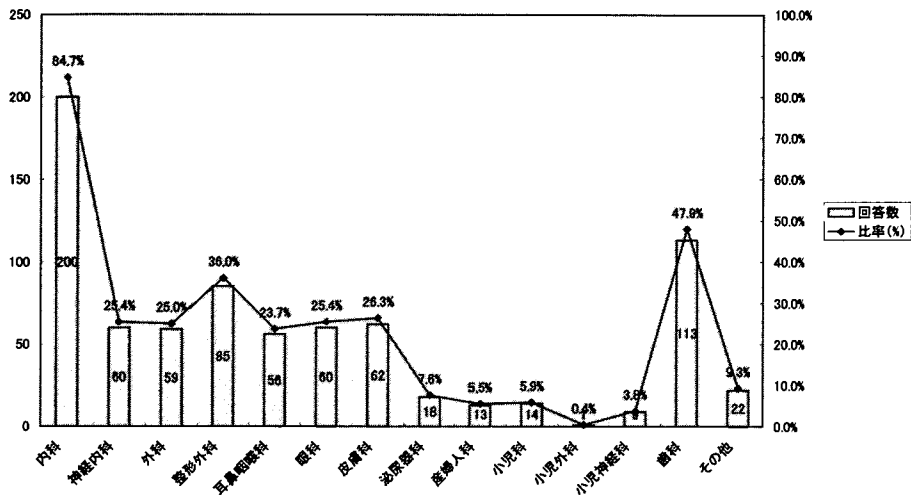


医療機関との連携、カンファレンス実施の有無(入所施設)

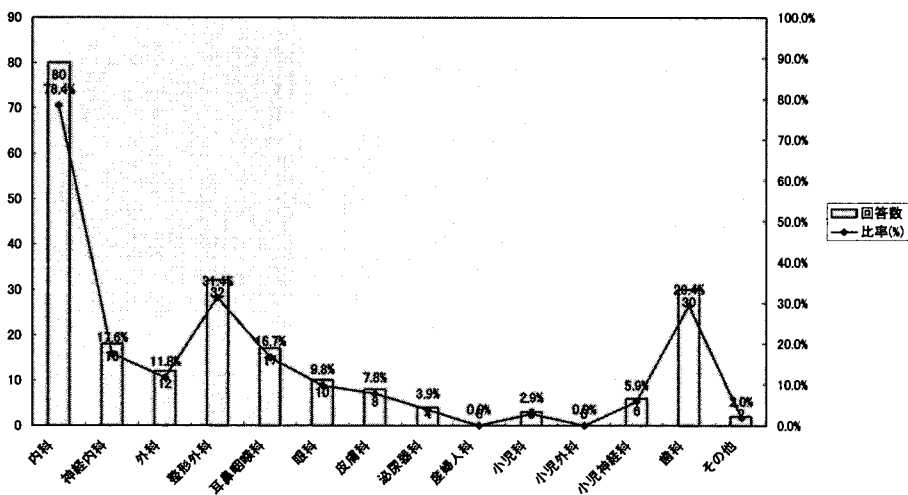


<身体合併症医療について>

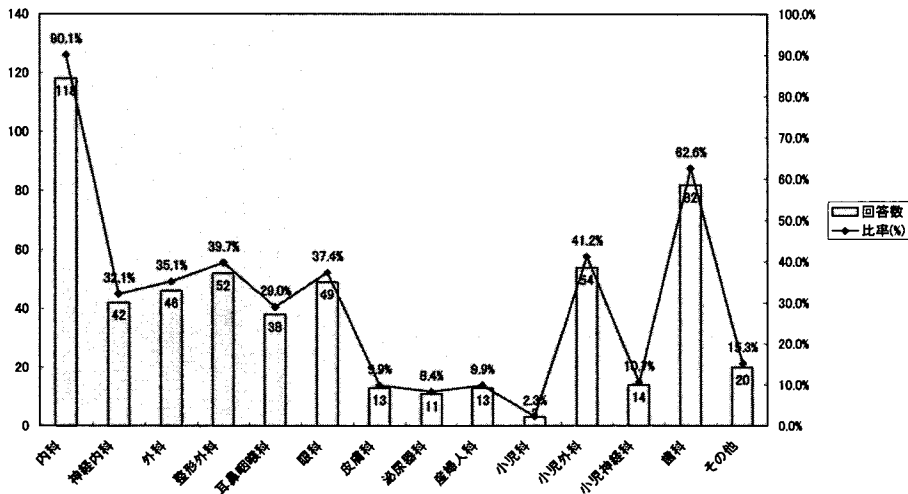
身体疾患治療のため連携している診療科(複数回答可)



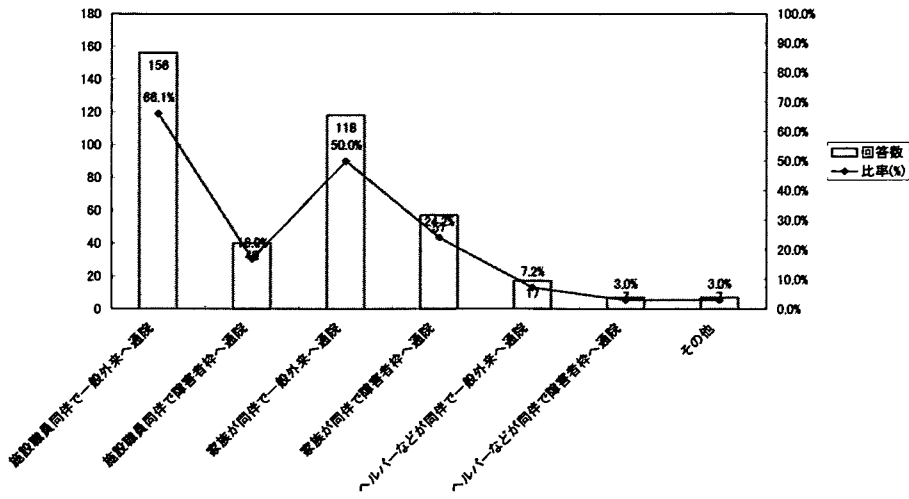
身体疾患治療のため連携している診療科(通所施設・複数回答可)



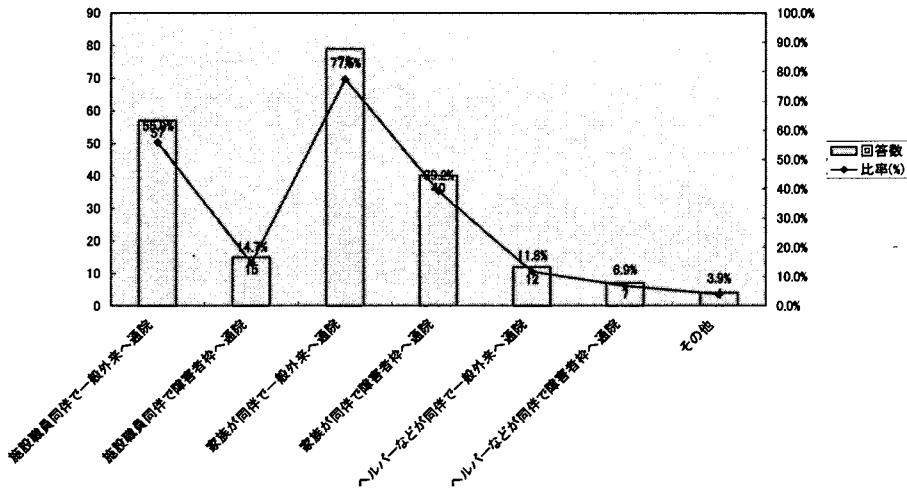
身体疾患治療のため連携している診療科(入所施設・複数回答可)



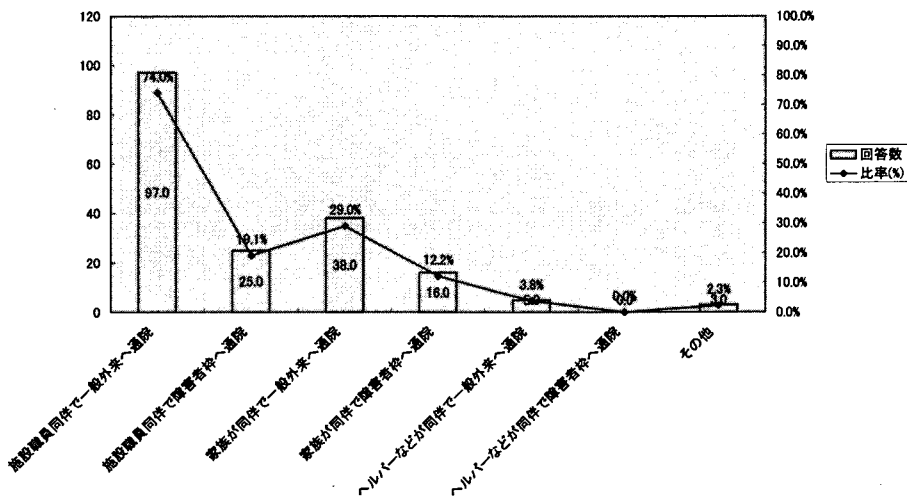
身体診療科通院時に必要とされる対応について(複数回答可)



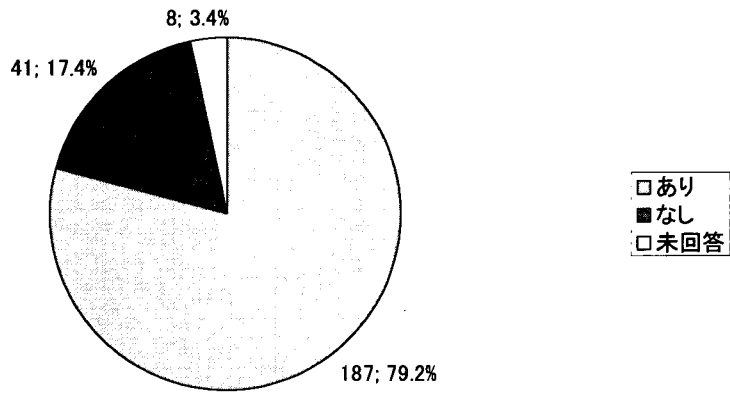
身体診療科通院時に必要とされる対応について(通所施設・複数回答可)



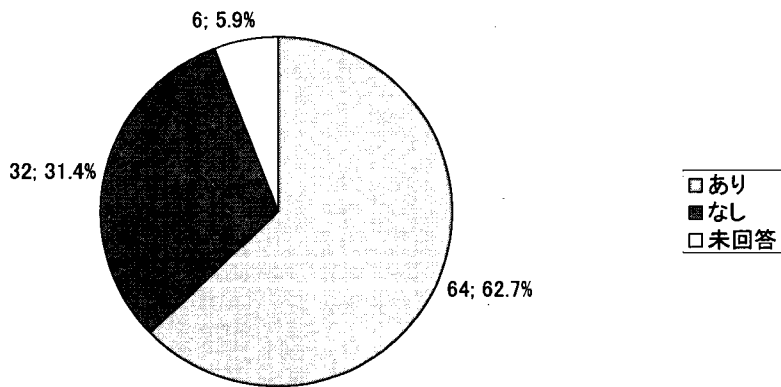
身体診療科通院時に必要とされる対応について(入所施設・複数回答可)



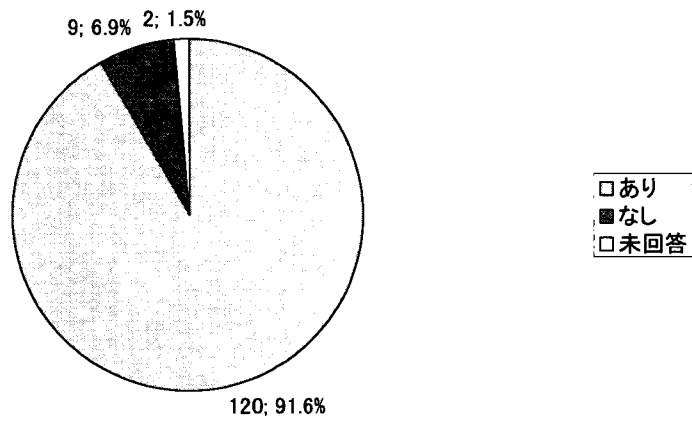
身体疾患での入院が必要となった経験の有無



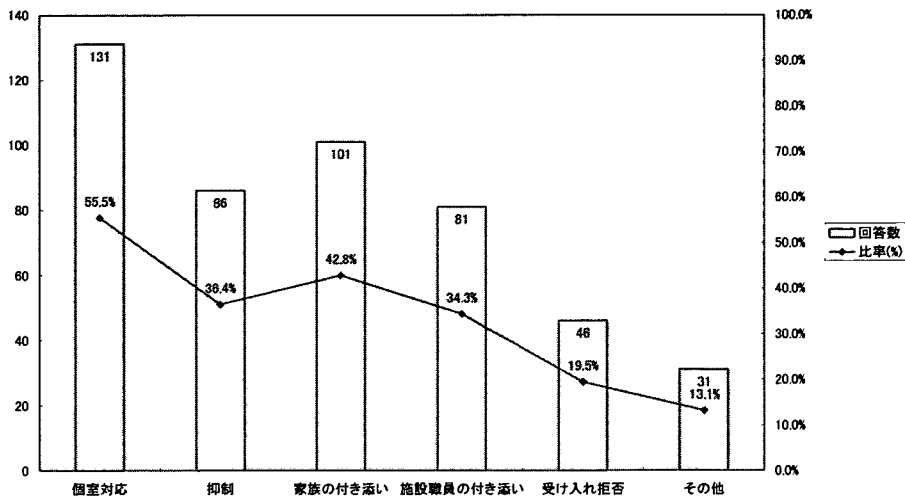
身体疾患での入院経験の有無(通所施設)



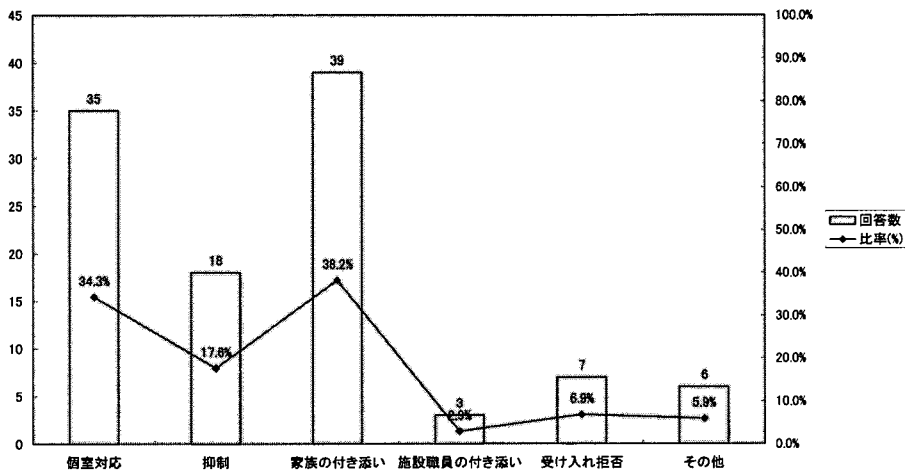
身体疾患での入院が必要となった経験の有無(入所施設)



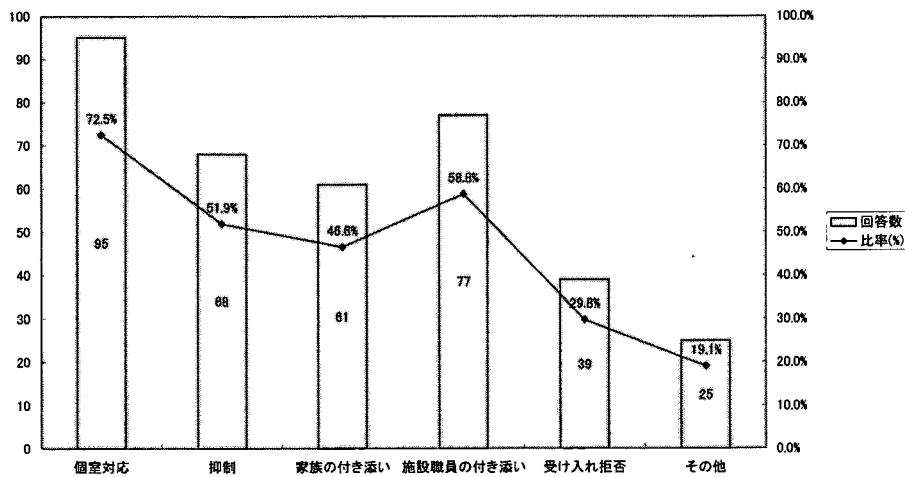
身体疾患で入院治療を受けた際に必要とされた対応(複数回答可)



身体疾患で入院治療を受けた際に必要とされた対応  
(通所施設-複数回答可)



身体疾患で入院治療を受けた際に必要とされた対応  
(入所施設-複数回答可)





### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する 一覧表

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文名	編集者	書籍名	出版社	出版地	出版年	ページ
田中康雄			子どものメンタルヘルスがわかる本	明石	東京	2007	
内山登紀夫	対談：内山登紀夫 X 高森明	高森 明	アスペルガー当事者が語る特別支援教育、スローラーナーのすすめ	金子書房	東京	2007	89-103
辻井正次			特別支援教育で始まる楽しい学校生活の創り方—軽度発達障害の子どもたちのために	河出書房新社	東京	2007	
緒方明子		下司昌一・ 緒方明子・ 里見恵子・ 小西喜朗(	「特別支援教育の理論と実践、Ⅲ特別支援教育士の役割・実習」	金剛出版	東京	2007	
緒方明子		上野一彦・緒方明子・ 柘植雅義他	特別支援教育基本用語 100	明治図書	東京	2007	
高橋 脩	アスペルガー症候群・高機能自閉症：思春期以降の問題行動と対応		アスペルガー症候群論文集	星和書店	東京	2007	79-85
藤岡 宏			自閉症の特性理解と支援	ぶどう社	東京	2007	
市川宏伸	発達障害における衝動性	坂田三允	精神看護エクスペール 20	中山書店	東京	2007	101-110
市川宏伸			子どもの表情・しぐさ・行動がちよっと変だな？と思ったとき読む本	主婦と生活社	東京	2007	
市川宏伸	児童・青年期の精神障害 — 発達障害	仙波純一、 石丸昌彦	新訂 精神医学	日本放送協会	東京	2007	170-182

	を中心にー						
市川宏伸			自閉症を学びなおす	日本自閉症協会	東京	2008	
市川宏伸、 宇野陽太	心理的発達の障害	伊藤哲寛	精神医学精神保健福祉士テキストブック 1	ミネルヴァ	京都	2008	133-140
市川宏伸	小児期および青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	伊藤哲寛	精神医学精神保健福祉士テキストブック	ミネルヴァ	京都	2008	140-146
市川宏伸	思春期のAD/HDの薬物治療		「精神科治療学」選定論文集	星和	東京	2007	279-285
市川宏伸	チック障害		今日の治療指針 2008	医学書院	東京	2008	751

雑誌

発表者	論文名	発表誌	巻・号	ページ	出版
田中康雄	軽度発達障害に対する教育と医療の連携	精神科臨床サービス	7	92-96	2007
田中康雄	発達障害と児童虐待	最新精神医学	12	111-117	2007
田中康雄	家族・家族会・自助グループ	日本臨床	65	532-537	2007
田中康雄	家族・家族会・自助グループ:児童精神医学の視点から	子ども発達臨床研究	1	3-10	2007
田中康雄	「連携」するために知るべき、それぞれの実情	LD研究	16	16-31	2007
田中康雄	問題行動・精神所見のみかた	小児科臨床	60	709-715	2007
田中康雄	発達障害のある子どもたちと共に生きる	臨床心理学	7	313-318	2007
田中康雄	特別支援教育に向けての課題-医学が担う学際的役割-	児精誌	48	118-125	2007
田中康雄	教育現場における精神科医の役割	臨床精神医学	36	521-525	2007
田中康雄	注意欠陥多動性状態の問題と対応	最新精神医学	12	347-354	2007
田中康雄	ADHD(注意欠陥多動性障害)	小児看護	30	1253-1261	2007
田中康雄	「AD/HDの支援の仕方・支援の場」	児精誌	48	95-101	2007
田中康雄	教育と児童精神医学にある	児精誌	48	463-468	2007

	協働を考える				
安達 潤	特別支援教育は「特別」か？	児童心理	07/12	114-120	2007
安達 潤	発達障害と子ども虐待 特別支援教育に求められる新たな視点	実践障害児教育	415	12-15	2007
安達 潤	子育ての難しさの中で起こってくること	アスペハート	16	674-678	2007
内山登紀夫	子どものこころの障害, 注意欠陥/多動性障害と広汎性発達障害	臨床精神医学	36	603-606	2007
内山登紀夫	注意欠陥/多動性障害と自閉症スペクトラム	児精誌	48	286-292	2007
Wakabayashi A, Baron-Cohen S, Uchiyama T, Yoshida Y, Kuroda M, Wheelwright S	Empathizing and Systemizing in Adults with and without Autism Spectrum Conditions : Cross-Cultural Stability.	Journal of Autism and Developmental Disorders	16	1823-32	2007
内山登紀夫	外来における発達障害の治療	精神療法	33	724-729	2007
蜂矢百合子, 北沢香織, 内山登紀夫	気になる子どもへの対応, 評価, 診断の意味	保育の友	07/4	34-35	2007
山本京子 小泉典章	県立機関としての発達障害者支援センター	発達障害研究	29	111-113	2007
Toyoda T, Nakamura K, Yamada K, Thanseem I, Anitha A, Suda S, Tsuji M, et.al.	SNP analyses of growth factor genes EGF, TGFbeta-1, and HGF reveal haplotypic association of EGF with autism..	Biochem Biophys Res Commun.	360	715-720	2007
Tsuchiya KJ, Hashimoto K, Iwata Y, Tsujii M, Sekine Y et.al.	Decreased serum levels of platelet-endothelial adhesion molecule (PECAM-1) in subjects with high-functioning autism: a negative correlation with head circumference at birth.	Biol Psychiatry.	62	1056-1058	2007
Nishimura K,	Genetic analyses of the	Biochem Biophys	356	200-207	2007

Nakamura K, Anitha A, Yamada K, <u>Tsuji M</u> et.al.	brain-derived neurotrophic factor (BDNF) gene in autism.	Res Commun			
Miyahara M, Bray A, <u>Tsuji</u> M, Fujita C, Sugiyama T	Reaction time of facial affect recognition in Asperger's disorder for cartoon and real, static and moving faces.	Child Psychiatry Hum Dev.	38	121-134	2007
Suzuki K, Hashimoto K, Iwata Y, Nakamura K, <u>Tsuji M</u> , et.al.	Decreased serum levels of epidermal growth factor in adult subjects with high-functioning autism.	Biol Psychiatry.	62	267-269	2007
神谷美里・ <u>辻井正次</u> ・石川道子	高機能広汎性発達障害女子のグループ活動の試み.	小児の精神と神経	47	115-122	2007
神谷美里・吉橋由香・宮地泰士・ <u>辻井正次</u>	広汎性発達障害の行動・情緒的特性の性差 - Child Behavior Checklist/4-18 による検討	精神医学	49	1021-1026	2007
田倉さやか・ <u>辻井正次</u>	発達障害児のきょうだいに 対する自己理解・障害理解プログラム の試み - 海洋体験を中心とした合宿を通して	中京大学現代社会学部紀要	1	45-58	2007
<u>宮地泰士</u> , <u>辻井正次</u>	自閉症スペクトラムの早期診断	脳 21	10	228-231	2007
神谷美里・宮地泰士・吉橋由香・ <u>辻井正次</u>		脳 21	10	232-236	2007
豊田佳子, <u>辻井正次</u>	高機能広汎性発達障害をもつ子どもたちへのグループ・アプローチ	臨床精神医学	36	607-610	2007
<u>辻井正次</u>	子どもの心の支援としてのグループ療法	母子保健情報	55	109-113	2007
明翫光宜, <u>辻井正次</u>	思春期・成人期のアスペルガー症候群	精神療法	33	435-440	2007
<u>辻井正次</u> , 桜井伸二, 佐竹	広汎性発達障害の3次元動作分析からみた投動作のバ	中京大学社会部紀要	21	47-54	2007

創平	リエーションー不器用さに対する支援のために				
緒方明子	保護者、外部の専門機関との連携をどう進めるか	別冊教職研修	07/04	38-40	2007
高橋 脩	児童思春期精神医学の進歩：自閉症ー乳幼児期ー	臨床精神医学	36	571-575	2007
松矢勝宏、小川 浩、他	発達障害者に対する効果的な職業訓練事例集	独立行政法人雇用・能力開発機構調査研究	119	21-36	2007
市川宏伸	児童思春期の薬物療法	臨床精神医学	36	511-514	2007
市川宏伸	薬物治療	母子保健情報	55	95-102	2007
市川宏伸	発達障害についての理解と支援	職リハネットワーク	60	34-39	2007
市川宏伸	注意欠陥/多動性障害ーその妥当性と治療	臨床精神薬理	10	1552-1561	2007
市川宏伸	適切な指導・必要な支援による発達障害の症状改善	教職研修	増刊	102-103	2007
市川宏伸	児童青年期における副作用	臨床精神医学	増刊	276-280	2007
市川宏伸	ADHDの児童・生徒への対応と支援・指導の留意点	教職研修	36・41	58-61	2007
市川宏伸	発達障害再考ー発達障害概念の変化ー	日本発達障害ネットワーク年報	12	31	2007
市川宏伸	特別支援教育の展開と課題ー医療の立場からー	児精誌	48	53-54	2007
市川宏伸	発達障害者支援法と医療	日本外来臨床精神医学	5・1	36-39	2008
市川宏伸	「睡眠障害」のさまざまな病態を知る	薬局	59	33-36	2008
市川宏伸	睡眠薬の正しい使い方ー医師の処方意図を知るー	薬局	59	68-70	2008
市川宏伸	障害者自立支援法と医療ー子どもの精神科からー	精神療法	34	16-25	2008
市川宏伸	特別支援教育と精神科ー発達障害をめぐってー	精神科	12	56-61	2008

厚生労働科学研究費補助金  
こころの健康科学研究事業

---

平成20年3月31日

発達障害(広汎性発達障害、ADHD、LD等)に係わる  
実態把握と効果的な発達支援手法の開発に関する研究

研究代表者 市川 宏伸

連絡先 〒156-0043 東京都世田谷区松原6-37-10  
東京都立梅ヶ丘病院医局  
TEL：03-3323-1621 FAX：03-3328-0312

印刷 社会福祉法人新樹会 創造印刷

---